

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	旅行代理店（支店長）	・海外旅行の場合、燃油サーチャージが大幅に安くなるという宣伝効果が出てくるので、海外のパンフレットのはげは良くなる。
	やや良くなる	百貨店（販売促進担当）	・3～4月に向けて様々なフェア、イベント、大きなセールが企画されており、来客数については現状よりもかなり増加する。シーズンの需要期に向かうにつれて、現行商品の売上も期待できる。
		衣料品専門店（統括）	・今の時期は年間を通して、非常に売上が大きい。通常、5月くらいからお祭り商品ということで動き出すが、問屋の話によると、売上が伸びる状態ではない。ただ、客の様子を見ると、少しは動き出すのではないか。
		自動車備品販売店（経営者）	・今後は、高速道路が割引になり、客も非常に期待している。よって、我々の身の回りが活性化しそうである。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行の需要について、申込が増加すれば販売量も増加する。4～6月の先行き3か月は、前年比200～300%増加という申込となっており、景気が上向いている。
	その他レジャー施設 【アミューズメント】 （職員）	・下げ止まっている感じなので、少し良くなる。	
変わらない		商店街（代表者）	・良くはならないと思うが、当分の間は学販が続いていくので、前年並みくらいになる。教育のために親が必要な物を買うので、変わらない。
		商店街（代表者）	・いろいろなどころで景気の悪い話ばかりなので、客はお金の使い方を考えている。
		一般小売店【精肉】 （経営者）	・近隣の会社の稼働日数が減少しており、収入源が減少している。客の財布のひもは固いので見込みはない。
		百貨店（営業担当）	・3月は様々なイベントを組んで盛り返すが、なかなか全体の底上げにはならない。紳士関連は単価が下がっているの で、非常に厳しい。
		スーパー（店長）	・客の買物の慎重さを見る限り、短期間で良くなるとは到底思えない。
		コンビニ（店長）	・食品は必ず消費するので、なんとか持ちこたえるという形 であり変わらない。
		コンビニ（店長）	・今月中旬にオープンした同業他社の影響が景気の悪さと共 に強く出ている。景気は、今後ますます悪化しそうである。
		衣料品専門店（経営者）	・地元企業の生産調整の影響が深刻化する。個人消費は相当 厳しいものになる。
		乗用車販売店（営業担 当）	・景気回復の見込みがない。
		乗用車販売店（販売担 当）	・連日テレビ、ラジオ等で車業界の良くない状況を流してい るので、今、新車を買ったり、高額の中古車を購入すると社 会悪になってしまうと客は感じている。客がとにかく来店し ない。2～3か月先もこの状況は大して変わらない。
		乗用車販売店（営業担 当）	・客の動きが少しではあるが今までより活発である。底が少 し見え始めた。
		都市型ホテル（支配 人）	・3～4月の歓送迎会の動きが若干ある。団体の予約は既に 入っており、個人客が動くかどうかである。
		タクシー運転手	・3～4月は、歓送迎会など動く月であるが、景気が悪いの で、簡単な食事会で済ませるところが多い。
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況があまり良くない。
		美容室（経営者）	・美容院の経営状況が落ち込んでいるためか、組合への税金 や融資の借換えに関する相談が例年に比べ増えており、見通 しは良くない。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・近隣スーパーの閉店で、地域の人々も街を歩かなくなり、 商店街の衰退に拍車を掛けている。
		一般小売店【乳業】 （経営者）	・来月以降まだ減産の続く工場が多く、厳しい状況が続く。
		スーパー（総務担当）	・食品等も必要な量しか購入せず、相場に左右される生鮮商 品はその傾向が顕著であり、今後もこのような状況が続く。
		スーパー（統括）	・例年この時期は異動などで需要が高まるが、消費者のマイ ンドは、株価低落やリストラなどといった連日の不況報道で 緊縮傾向となっており、例年ほどの需要は見込めない。
		コンビニ（経営者）	・近くの会社で労働時間、労働日数の短縮をしており、来客 数が少なくなっているのので、これから景気は悪くなる。

	衣料品専門店（店長）	・マスコミが100年に一度の経済危機と言っているために、不景気の影響を受けない人まで、財布のひもが固くなる傾向が続く。
	乗用車販売店（従業員）	・先の見通しが不透明な中では、今の状況は変わらず減少する一方である。
	住関連専門店（仕入担当）	・消費マインドの低下、家計の防衛意識は、今後より一層強くなる。
	高級レストラン（店長）	・中小企業の経営者である客によると、今回の景気悪化は、かつてない速さや規模で受注量や売上が減少しており、今後、更に深刻になる見通しである。
	一般レストラン（経営者）	・つい最近まで優良経営をしていた地域を代表する企業が手の裏を返したような企業運営をしなければならなくなっている。また、その企業の下請をしている小企業も多く、連鎖的に景気の悪化を生んでいる。
	遊園地（職員）	・所得減少によるレジャー支出抑制、出控え等が懸念される。
	ゴルフ場（従業員）	・来客数は低調である。予約数も減少している。客は必要以上のものは買わないので、今後もやや悪くなる。
	ゴルフ場（業務担当）	・単価が昨年を下回り、収益については改善が見込めない。若干引き合いも鈍っているので、今後も引き続き落ち込む。価格の維持が困難で、来客数を確保できても売上が伸びない。見通しはあまり良くない。
	ゴルフ場（支配人）	・平日の予約が伸びない。卒業、異動、年度末など、例年の区切りのコンペが少ない。
	競輪場（職員）	・自場や他場の売上が目標額に達していないので、なかなか回復は考えられない。
	設計事務所（所長）	・ここ2～3か月、受注率が低迷している。景気回復は難しい。
	住宅販売会社（経営者）	・大手の決算報告により世情の不景気感が強まり、買い控えが進む。
	住宅販売会社（従業員）	・来場者の減少はそのまま受注量の減少に直結し、販売単価の減少は粗利の減少につながる。
悪くなる	商店街（代表者）	・市内企業の業績悪化が続き、週に3～4日間しか働けない雇用情勢で消費を控えている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・先の見通しが伸びるわけがない。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・地元企業で従業員のカットや仕事がなくなっている。街の小売は売上が伸びない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・テレビ、ニュース、新聞等で景気の悪化が騒がれ、残業もなく、臨時社員は解雇され、お金を使うところではない。
	百貨店（営業担当）	・雇用関係が非常に悪く、有効求人倍率も0.59と非常に低くなっているため、消費マインドは更に下がる。
	百貨店（販売促進担当）	・消費者は決して可処分所得が無いわけではないが、経済状況の先行き不透明感や、更なる雇用の悪化が拡大するなか、今以上に生活防衛意識が強くなり消費は低迷する。
	スーパー（経営者）	・所得減により景気の悪化が進む。
	衣料品専門店（経営者）	・すべてに客の節約傾向が見られる。
	衣料品専門店（経営者）	・3月には、街なかの食品スーパーが半月を掛けて改装休みになるので大変不安である。
	家電量販店（店長）	・地上デジタル商品の普及促進対策などが出てこない、明るい話題が乏しい。
	住関連専門店（店長）	・身近な企業で派遣社員等の削減に加えて正社員の削減にも取り組んでいるため、悪くなる。
	一般レストラン（経営者）	・前年同月比10%減であるが、家族客の激減が予想される。
	観光型ホテル（営業担当）	・近隣にある製造業各社では人員削減、閉鎖や廃業に追い込まれているところもあり、徐々に影響が出てくる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・大手企業の宿泊が無くなっているなかで、新規ホテルが去年から5店舗進出している。1,000室ほど増えているので、見通しが非常に暗い。
	旅行代理店（従業員）	・客からの電話が鳴らない。
	旅行代理店（副支店長）	・週休3～4日の近隣の企業が多く、余暇に使う資金が無い。地域的にも同業種の閉鎖、倒産、統合等が進んでいる。3月の決算期はもっと不安要素が広がる。
	タクシー運転手	・景気の後退感が企業ばかりでなく個人にも浸透し、多少の距離ならタクシーを使わず徒歩や自転車を利用する人が増えている。
	タクシー（経営者）	・昼も夜も全体的に落ち込んでいるので、この先も悪い。

		通信会社（営業担当）	・周りのほとんどの企業が不安定な経営状況にあり、いつまでこの会社が続くのだろうと経営者からもささやかれている。	
		観光名所（職員）	・景気低迷が長引き、消費回復は長い期間望めない。	
		美容室（経営者）	・客は1円でも安ければそちらに買物へ行くそうである。将来の不安が、お金を使わなくしている。	
		設計事務所（所長）	・今後、数か月で建築投資意欲が起きるとは到底考えられない。	
		住宅販売会社（経営者）	・バブル経済崩壊の時、東京が悪くなってから5か月～半年後に地方へ影響が押し寄せてきたので、これから最悪になるのではないが。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	プラスチック製品製造業（経営者）	・在庫調整が済んだので、2～3か月先には発注量が増える。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・得意先の在庫調整が全く見えないが、年度が変われば、試作開発案件も動き出すことが見込める。また、ハイブリッドカー向けの部品が好調であり、ラインを増設して増産対応する予定である。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・3月はこの状況が続くと思われるが、3か月先ごろには、徐々に仕事量が増える。	
	変わらない		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品の受注があるものの、その制作準備に時間を取られ、思うような生産につながらない。
			金属製品製造業（経営者）	・仕事が少なく、平日も休むというのが身近なところでもたくさんある。まだ変わりはない。
			一般機械器具製造業（経営者）	・2、3か月後からは、ハイブリッド車の部品が増加する予定で、その他の仕事量を下支えする。
			電気機械器具製造業（経営者）	・落ち込んだまま厳しい状況が続く。企業も淘汰され、本当に力のある企業だけが生き残る。
			電気機械器具製造業（経営者）	・3月が底で、4月以降から多少なりとも動くが、前年比で2～3割生産量が少ない状況となる。
			経営コンサルタント	・ほとんどの中小企業は、外部要因次第という状況にある。民間企業レベルでやれる対策の幅は相当小さい。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・良くなる材料が見当たらず、悪い状況が続く。	
やや悪くなる		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・節約委員会を立ち上げ、社員からの意見集約がなされる話が数社から聞かれる。また、新年度を控え、支出予算の削減はどの企業、店からも聞かれる。	
		社会保険労務士	・顧問先の派遣会社によると、3月以降も派遣切りは続くとのことである。	
悪くなる		食料品製造業（製造担当）	・景気の悪化で、中小、零細企業に資金が回らない状況にある。資金を借りられないところもあり、倒産や失業が増えると、買い控えが起きて物が売れなくなる。	
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・客の動向がかなり厳しい。3月に入って倒産というふうなうわさの会社が2～3社ある。	
		化学工業（経営者）	・主要部門での受注は数か月先まではほとんど期待できない。客先も非常に厳しい。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車を始め、いろいろなどところで減産しており、良くなるとは思えない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・メインの取引先動向も厳しい状況にあり、他の中小企業の客先からも受注が全くない状況である。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・客先からの見積依頼が非常に少なくなっている。また、価格競争も一段と激化しており、厳しい状況が続く。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・40%強の受注減少では、先の見通しが全く立たない。	
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・景況感が回復しない限り、ジュエリーへの関心は戻らない。	
		建設業（総務担当）	・現在の受注物件が終了するのが4月末で、5月以降、今の状況だと資金が厳しくなる。	
		金融業（総務担当）	・来年度予算が減額される見込みであり、今まで以上に購入を控えたり、単価を下げる必要がある。	
	広告代理店（営業担当）	・広告予算を増やす企業、業界が皆無である。2月に入って、早速同業の広告会社が倒産した。予備軍も数社ある。		
雇用 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	-	-	
	変わらない	職業安定所（職員）	・派遣等非正規労働者の雇止め、契約解除がまだ続いているうえに正社員の人員整理の情報も目立ってきている。	
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・今後、派遣等の非正規雇用労働者が雇止め等により離職することが見込まれており、雇用情勢は厳しさを増す。	

	民間職業紹介機関（経営者）	・すべての会社が、景気の底がどこなのかが分からないため、慎重になっており、情勢は悪い。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・この時期は例年採用計画の見直しで求人が増える傾向にあったが本年度はほとんどない。どちらかというと急な退職者に伴う求人がほとんどのように思える。欠員が出ても採用を手控えている企業も多く、見通しは悪い。
悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・製造業については人員削減ということも、周辺企業からの情報として聞いている。自動車関連の電子関連部品、携帯関係の部品など、細かい部品についての製造や加工については、予断は許さない。
	人材派遣会社（社員）	・取引先や同業他社の話だと、民間企業も官公庁関係もどちらも予算を取れず、仕事や金額が減少している。旅館、ホテルに関しても、昨年12月までは前年比で同じくらいの稼働だったが、1～2月はかなり稼働が落ち、苦労している。
	人材派遣会社（営業担当）	・不況の影響で契約社員の3月末契約打ち切りが増加する見通しである。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・求人広告の売上が、最高時の5分の1くらいまで落ち込んでいる。他の求人会社も底が見えない。掲載が減少し、依然として苦しい。
	職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数が、14か月連続して前年比を下回っている。自動車業界、半導体関係の受注激減により、製造業の求人数の減少幅が大きく、雇用情勢は悪くなる。
	職業安定所（職員）	・3月以降も正規社員の大規模な離職予定があり、雇用失業情勢は今後も厳しい。